

製品名: TULA ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19430**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	75kDa

抗原情報

遺伝子名	UBASH3A UBASH3A; STS2; Ubiquitin-associated and SH3 domain-containing protein A; Cbl-interacting protein 4; CLIP4; Suppressor of T-cell receptor signaling 2; STS-2; T-cell ubiquitin ligand 1;
別名	TULA-1
遺伝子 ID	53347.0
SwissProt ID	P57075
免疫原	抗血清はヒト UBASH3A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 311-360

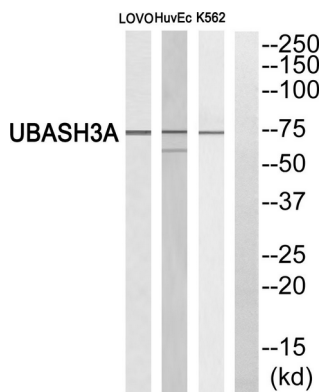
背景

この遺伝子は、T細胞ユビキチンリガンド (TULA) ファミリーに属する2つのファミリーメンバーのうちの1つをコードしています。両方のファミリーメンバーは、T細胞シグナル伝達を負に制御することができます。このファミリーメンバーは、T細胞における成長因子の除去誘導性アポトーシスを促進することができ、これはアポトーシス誘導因子である AIF との相互作用を介して起こる可能性があります。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2011年8月],機能: CBL を介した受容体型チロシンキナーゼのダウンレギュレーションおよび分解を阻害します。T細胞受容体、EGFR、PDGFRB などの活性化標的受容体の細胞表面への蓄積を促進します。 ,類似性: 1つの SH3 ドメインを含みます。 ,類似性: 1つの UBA ドメインを含みます。 ,サブユニット: ホモダイマーまたはホモオリゴマー。 CBL と相互作用します。 CBL および活性化 EGFR を含む複合体の一部です。ユビキチンおよびモノユビキチン化されたタンパク質と相互作用します。 ,組織特異性:UBASH3A は、脾臓、末梢血白血球、胸腺、骨髄などの免疫系に属する組織で最も高く発現します。 ,

研究分野

細胞生物学; その他の抗体; その他の抗体

画像データ



UBASH3A 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンには UBASH3A ペプチドでブロッキングされている。